

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	音楽表現論	
科目基礎情報					
開設学科	こども学科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	15 時間
単位数	1単位	授業形態	演習		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。幼稚園コースは豊岡短期大学の教科書を使用、保育士コースはコピーを配布する				
担当教員情報					
担当教員	中川 知子	実務経験の有無・職種	有・音楽教員		
学習目的					
音楽表現、身体表現、言語表現、造形表現の各領域を横断した「表現」に関する知識や保育技術の習得を目的としている。幼児教育とは何なのかを考察し、幼児教育の中の「音楽表現」の位置づけを理解できるようになるために、子どもの音楽表現力を豊かにし、子どもの成長過程に応じた発達を援助できるような保育者となることがねらいである。					
到達目標					
学生が幼児教育についてや保育内容について理解し、こどもの音楽表現遊び、身体表現遊びを展開するために必要な知識や技術を音楽表現的領域、身体表現的領域、言語表現的領域、造形表現的領域から見出し、音楽活動の指導に必要な基礎的理論を身につけることを目標としている。また、こどもの音楽表現活動の指導援助者として、音楽の基礎知識と保育内で扱う教材について必要な知識をも合わせて習得することを目標としている。					
教育方法等					
授業概要	幼児にとって、音楽と身体は自己表現と切り離せないほど密接な関係にある。幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「表現」の内容を主軸として、他領域での知識や技能を連携させながら、子どもにとっての音楽表現について、その意義、効果的な指導法、使用教材の知識などについての理論と実践方法を自らの音楽表現や身体表現、言語表現、造形表現から学習する。さらに小学校以降の教科とのつながりを考えて、音楽的知識と基礎を身に付け、楽譜の読み書きや音楽の楽しさを伝えられる技術力と実践力を身に付ける。				
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。音楽の基本を基に、楽譜が読めるようになるために行う小テストの見返りを怠らない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。テキストを忘れた学生は授業は受けられない。				
評価方法		割合	備考		
	試験	60%	課題を総合的に評価する		
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～8回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	音楽表現に必要な音楽要素を考える	音楽表現に必要な音楽要素の理解と乳幼児の発達に伴う声域についてを理解する			
2回	イメージを表現する為の音や音階を考える	イメージを表現する為に必要な譜表・音名・記号について理解する			
3回	日本のこどもの歌と歴史的背景を考える	季節・行事・生活の曲を通して、歴史やいわれを理解しながら実践に生かす力を養う			
4回	身体、言葉のリズムについて考える	身体及び言葉の中のリズム、生き物に見られる拍とリズムの理解を基に実践する			
5回	幼児用楽器の使い方を学ぶ	幼児用楽器の使い方と、正しい演奏法の理解を基に実践する			
6回	自然と身の回りの音について考える	身近な自然や身の回りの音を様々な組み合わせで表現する方法を基に実践する			
7回	乳幼児における音楽表現について考える	乳幼児の音楽表現を可視化するための手法を理解する			
8回	園行事等での器楽演奏を学ぶ	園行事等での器楽演奏を表現豊かなものにするを理解し、実践する(発表を含む)			
9回					
10回					
11回					
12回					
13回					
14回					
15回					